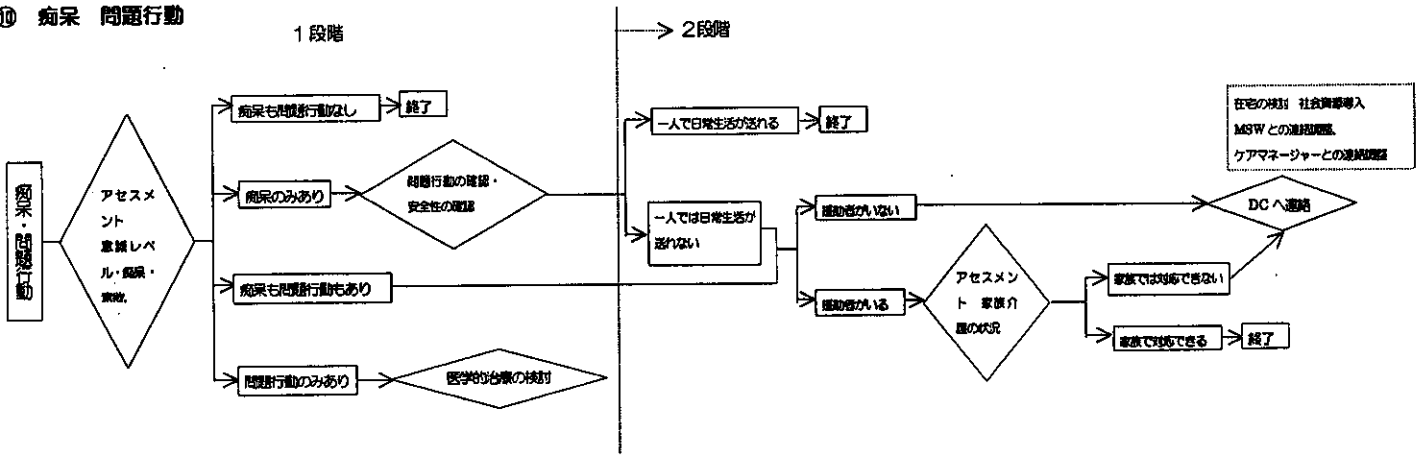
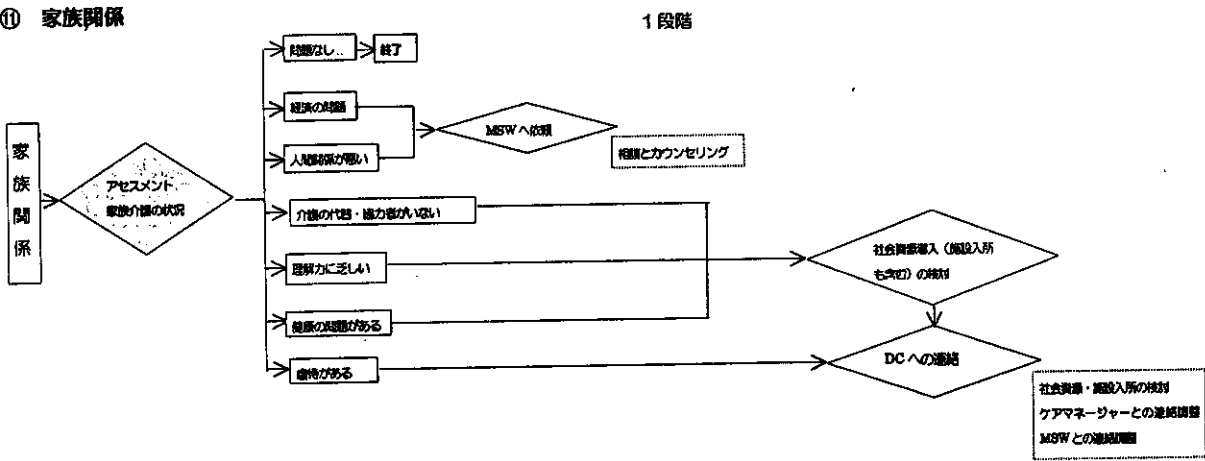


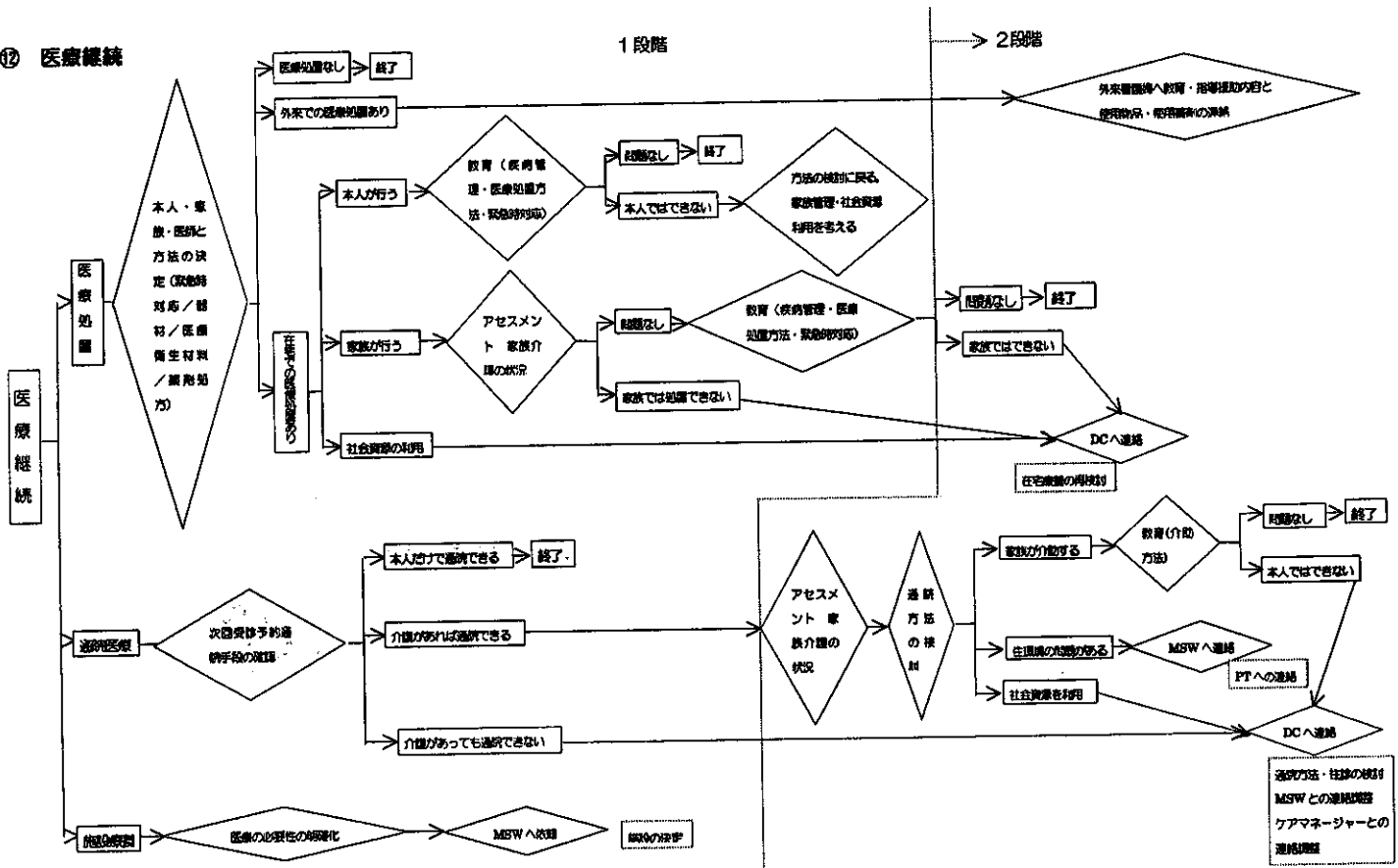
⑩ 痴呆 問題行動



⑪ 家族関係

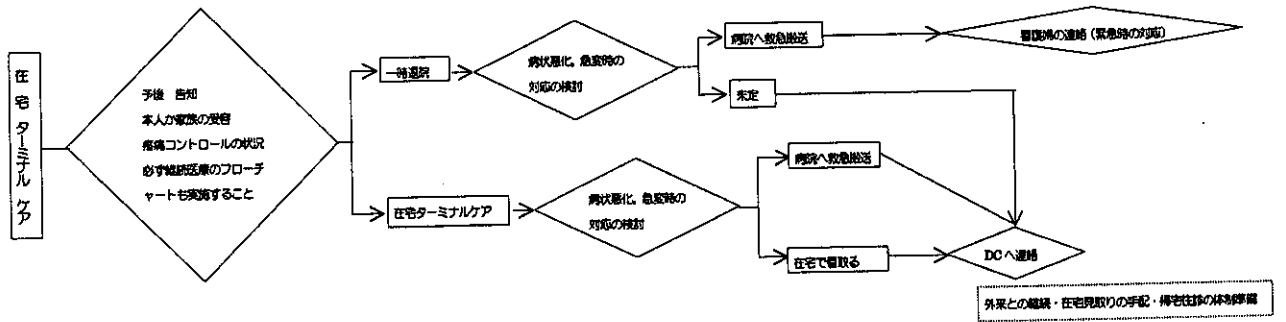


⑫ 医療継続



⑬ 在宅ターミナルケア

1段階



通院計画アセスメント票

アセスメント (通院計画)

通院計画を進めていくときに使用してください。ここに記載しているアセスメントのための尺読およびツール、項目を使用するときは、使用方法をみて使用し、参考にしてください。また、他のツールも参考にしてください。

I. フィジカルアセスメント

I-1. 意識レベル: Japan Coma Scale

使用方法: 記載する場合は、R: 不醒状態、I: 失禁、A: 自覚性喪失と、重症度 I、II、III、の各点数を表示する。

I	覚醒している				
1.	たいへい意識清明だが、いま1つははっきりしない				
2.	目覚まし声がある				
3.	自分の名前、生年月日がいえない				
II	刺激すると反応する				
10.	音聲の呼びかけで容易に目覚める				
20.	大きな声または体をゆさぶることでも目覚める				
30.	痛み刺激を加えつつ、呼びかけを繰り返さずともううとして目覚める				
III	刺激しても反応しない				
100.	痛み刺激に対し、払いのけるような動作をする				
200.	痛み刺激で手足を少し動かしたり顔をしかめたりする				
300.	痛み刺激に全く反応しない				

I-2. 四肢の運動機能: 徒手筋力テスト (MMT)

5	正常	Normal (N)	正常の力強い運動が可能		
4	優	Good (G)	いくらか筋力を加えてもなお抵抗に打ち勝って動く		
3	良	Fair (F)	抵抗を加えたり力は集中して打ち勝って動く		
2	可	Poor (P)	重力のかけかたに依りては動く		
1	不可	Trace (T)	筋力の収縮は認められるが動かさない		
0	ゼロ	Zero (O)	まったく筋力の収縮は認められないし、動かさない		

II. 心理・認知

II-1. 意識: イエサベージのうつスケール (GDS-15)

※このスコアの解釈は、患者さんに寄っては異なります。使用法: 患者さん本人が記入できるが、後方調査や知的機能障害、失語症が認められる場合は、評価者が読み上げて評価することになる。はい/いいえのどちらかからO印をつけて、Oを2つ以上得点が5点以上は「うつ傾向」10点以上は「うつ状態」である。

1	今の生活に満足しているといえますか?	はい: 0	いいえ: 1
2	毎日の活動や世間に対する関心がなくなってきたように感じますか?	はい: 1	いいえ: 0
3	生きていくのが嫌しくなったり悲しいですか?	はい: 1	いいえ: 0
4	周囲に会うことがよくありませんか?	はい: 1	いいえ: 0
5	普段は気分がよいですか?	はい: 0	いいえ: 1
6	何か悪いことが起こりそうに感じますか?	はい: 1	いいえ: 0
7	自分は幸せなほうだと思いますか?	はい: 0	いいえ: 1
8	どうしようもないと思うことがありますか?	はい: 1	いいえ: 0
9	外に出かけるよりも家にいるほうが好きですか?	はい: 1	いいえ: 0
10	他の人より物忘れが多いと思いますか?	はい: 1	いいえ: 0
11	こうして生きていくことは苦しいと思いませんか?	はい: 1	いいえ: 0
12	これでは生きていくのがつらいと思いませんか?	はい: 0	いいえ: 1
13	自分は活力に満ちていると思いませんか?	はい: 1	いいえ: 0
14	こんな暮らしではつらいと思いませんか?	はい: 1	いいえ: 0
15	他の人は、自分よりも幸福に感じますか?	はい: 1	いいえ: 0

合計得点

II. 心理・認知

II-2. 痴呆: 痴呆式「老人知能の臨床的判定基準」

1) 痴呆式「老人知能の臨床的判定基準」

判定	日常生活能力	日常生活	知的機能	社会的・家庭的自立	社会的活動と家庭内活動可能	身体的状態 (痴呆老人)
(-) 軽度	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	通常の社会活動と家庭内活動可能
(+) 軽度 (+1)	通常の家庭内の行動はほぼ自立 日常生活上、助言や介助は必要はないか、あっても軽度	ほぼ普通	軽度の家庭内の行動はほぼ自立 日常生活上、助言や介助は必要はないか、あっても軽度	通常の家庭内の行動はほぼ自立 日常生活上、助言や介助は必要はないか、あっても軽度	通常の社会活動と家庭内活動可能 活動が乏しく、限られている 同じことを繰り返して居る、たずねる 今までできた作業 (集金、洗濯、買い物など) にミスまたは能力低下が目立つ	通常の社会活動と家庭内活動可能 活動が乏しく、限られている 同じことを繰り返して居る、たずねる 今までできた作業 (集金、洗濯、買い物など) にミスまたは能力低下が目立つ
(+) 中等度 (+2)	認知症のため、日常生活が1人で はたよつたおぼつかない 助言や介助が必要	限定的日常生活はどうか 可能 意思疎通は可能だが不十分、時間がかかる	日常生活が1人でほとんど無理 日常生活の多くに助言や介助が必要、あるいは失行が多目か少ない	認知症のため、日常生活が1人で はたよつたおぼつかない 助言や介助が必要	通常の社会活動と家庭内活動可能 活動が乏しく、限られている 同じことを繰り返して居る、たずねる 今までできた作業 (集金、洗濯、買い物など) にミスまたは能力低下が目立つ	通常の社会活動と家庭内活動可能 活動が乏しく、限られている 同じことを繰り返して居る、たずねる 今までできた作業 (集金、洗濯、買い物など) にミスまたは能力低下が目立つ
(+) 高度 (+3)	日常生活が1人でほとんど無理 日常生活の多くに助言や介助が必要、あるいは失行が多目か少ない	日常生活が1人でほとんど無理 日常生活の多くに助言や介助が必要、あるいは失行が多目か少ない	日常生活が1人でほとんど無理 日常生活の多くに助言や介助が必要、あるいは失行が多目か少ない	日常生活が1人でほとんど無理 日常生活の多くに助言や介助が必要、あるいは失行が多目か少ない	通常の社会活動と家庭内活動可能 活動が乏しく、限られている 同じことを繰り返して居る、たずねる 今までできた作業 (集金、洗濯、買い物など) にミスまたは能力低下が目立つ	通常の社会活動と家庭内活動可能 活動が乏しく、限られている 同じことを繰り返して居る、たずねる 今までできた作業 (集金、洗濯、買い物など) にミスまたは能力低下が目立つ
(+) 重症度 (+4)	同 上	同 上	同 上	同 上	通常の社会活動と家庭内活動可能 活動が乏しく、限られている 同じことを繰り返して居る、たずねる 今までできた作業 (集金、洗濯、買い物など) にミスまたは能力低下が目立つ	通常の社会活動と家庭内活動可能 活動が乏しく、限られている 同じことを繰り返して居る、たずねる 今までできた作業 (集金、洗濯、買い物など) にミスまたは能力低下が目立つ

使用方法: 「軽度」は、軽度性認知症の場合があるため、痴呆とは言いにくい、中等度以上の状態はすべて痴呆とみなされる。

2) 改訂長谷川氏簡易知能評価スケール (HDS-R)

使用方法: 最高得点は 30 点である。20 点以下を痴呆、21 点以上を非痴呆とした場合に最も高い性別性を示す。

1	お名前はいつですか? (2 年までの誕生日)	年	月	日	曜日	正解: 1 不正解: 0
2	今日は何年の何月何日ですか? (何曜日ですか?) (年月日、曜日が正解でそれぞれ1点ずつ)					正解: 1 不正解: 0
3	私たちがいるところはどこですか? (自覚的にできれば2点、5秒以内で家ですか? 病院ですか? 施設ですか? のなかから正しい選択をすれば1点) これら3つの言葉を覚えておく、採用した系列にO印をつけておく					正解: 2 選択: 1 不正解: 0
4	以下の系列のどれか1つで、採用した系列にO印をつけておく					正解: 1 不正解: 0
5	100 から7を順番に引いてください。(100-7は?) それからまた7を引いてください。最初の答えが不正解の場合、打ち切る					正解: 1 不正解: 0
6	私がこれと言った数字を覚えておく。(8-8-2、3-5-2-9 を逆にならべてもならず、3桁逆順で不正解の場合、打ち切る)					正解: 1 不正解: 0
7	私がこれと言った数字を覚えておく。(8-8-2、3-5-2-9 を逆にならべてもならず、3桁逆順で不正解の場合、打ち切る)					正解: 1 不正解: 0
8	先ほど覚えてもらった言葉をもう一度覚えておく。(a) 植物 (b) 動物 (c) 乗り物					正解: 1 不正解: 0
9	これから5つの単語を覚えます。それを覚えているかどうかを答えてください。(時計、傘、刀、ペン、履物など必ず相互に無関係なもの)					正解: 1 不正解: 0
10	知っている単語の名前をできるだけ多く覚えてください。(時計、傘、刀、ペン、履物など必ず相互に無関係なもの)					正解: 2 ヒントあり: 1 不正解: 0
11	知っている単語の名前をできるだけ多く覚えてください。(時計、傘、刀、ペン、履物など必ず相互に無関係なもの)					正解: 2 ヒントあり: 1 不正解: 0
12	知っている単語の名前をできるだけ多く覚えてください。(時計、傘、刀、ペン、履物など必ず相互に無関係なもの)					正解: 2 ヒントあり: 1 不正解: 0
13	知っている単語の名前をできるだけ多く覚えてください。(時計、傘、刀、ペン、履物など必ず相互に無関係なもの)					正解: 2 ヒントあり: 1 不正解: 0
14	知っている単語の名前をできるだけ多く覚えてください。(時計、傘、刀、ペン、履物など必ず相互に無関係なもの)					正解: 2 ヒントあり: 1 不正解: 0
15	知っている単語の名前をできるだけ多く覚えてください。(時計、傘、刀、ペン、履物など必ず相互に無関係なもの)					正解: 2 ヒントあり: 1 不正解: 0

合計得点

III-3. 視覚：日本版成人・高齢者用アシストメント・ケアプラン
 使用方法：1.視力の状態が2.3.4. 2.視覚障害の状態 a.b.c.d.の場合、「視覚障害に関する項目」と「視覚の回復に関する項目」が必要

1. 視力の状態	0. 遠視 (眼鏡の着用なしで読める) 1. 近視 (眼鏡の着用なしで読める) 2. 遠視 (眼鏡の着用なしで読める) 3. 遠視 (眼鏡の着用なしで読める) 4. 遠視 (眼鏡の着用なしで読める)
2. 視覚障害の状態	0. 視覚障害がない 1. 遠視 (眼鏡の着用なしで読める) 2. 遠視 (眼鏡の着用なしで読める) 3. 遠視 (眼鏡の着用なしで読める)
3. 視覚補助具の使用状況	0. 使用していない 1. 眼鏡 (遠視) 2. 眼鏡 (遠視) 3. 眼鏡 (遠視)

※眼鏡・コンタクトレンズ・聴覚補助具 (人工耳蜗) の使用状況について判断

III-4. 聴覚：日本版成人・高齢者用アシストメント・ケアプラン
 使用方法：聴力の状態が3.4.5.の場合、「聴覚障害に関する項目」と「聴覚の回復に関する項目」が必要

1. 聴力の状態	0. 聴覚障害がない 1. 聴覚障害 (遠視) 2. 聴覚障害 (遠視) 3. 聴覚障害 (遠視)
2. 聴覚補助具の使用状況	0. 使用していない 1. 眼鏡 (遠視) 2. 眼鏡 (遠視) 3. 眼鏡 (遠視)

III-5. 排泄：日本版成人・高齢者用アシストメント・ケアプラン
 使用方法：1.排泄の状態が1(a,b,c), 2.尿意の状態が1, 3.尿の出がたが1(a,b,c,d), 4.尿失禁の状態が2.3.4.の場合、「排泄の状態に関する項目」が必要

1. 排泄の状態	0. 排便 1. 排便 (遠視) 2. 排便 (遠視) 3. 排便 (遠視)
2. 尿意の状態	0. 尿意がある 1. 尿意 (遠視) 2. 尿意 (遠視)
3. 尿の出がた	0. 普通 1. 普通 (遠視) 2. 普通 (遠視)
4. 尿失禁の状態	0. 完全にコントロールできる (カテーテル使用している) 1. 完全にコントロールできない (遠視)

III-6. 排便コントロール：日本版成人・高齢者用アシストメント・ケアプラン
 使用方法：1.排便の状態が1(a,b,c,d)の場合、「排便の状態に関する項目」が必要

1. 排便の状態	0. 普通 1. 普通 (遠視) 2. 普通 (遠視)
2. 排便コントロール	0. 完全にコントロールできる (遠視) 1. 完全にコントロールできない (遠視)
3. 排便の方法	0. 普通 1. 普通 (遠視) 2. 普通 (遠視)

III. 身体状況・ADL・IADL
 III-1 ADL：バーガールディングス
 使用方法：各項目につき1つを選択する。最高得点は100点である

1) 食事	10: 自立 5: 部分介助 (どこか、食料を切ってもらう)
2) 洗濯・掃除	15: 自立 10: 部分介助 (どこか、食料を切ってもらう)
3) 買い物	10: 自立 5: 部分介助 (どこか、食料を切ってもらう)
4) トイレ動作	10: 自立 5: 部分介助 (どこか、食料を切ってもらう)
5) 入浴	10: 自立 5: 部分介助 (どこか、食料を切ってもらう)
6) 歩行	15: 45m以上の歩行 10: 45m以上の歩行 (杖や歩行補助具を使用) 5: 歩行不能の状態、歩行補助具45cm以上の使用
7) 移動手段	10: 自立 5: 部分介助 (どこか、食料を切ってもらう)
8) 移動手段	10: 自立 5: 部分介助 (どこか、食料を切ってもらう)
9) 移動手段	10: 自立 5: 部分介助 (どこか、食料を切ってもらう)
10) 移動手段	10: 自立 5: 部分介助 (どこか、食料を切ってもらう)

III-2. IADL：日本版成人・高齢者用アシストメント・ケアプラン
 使用方法：1つでも2.3.4.場合、「IADLの状態に関する項目」が必要

0. 自立	0. 1 1. 1 2. 1 3. 1 4. 1 5. 1 6. 1 7. 1 8. 1 9. 1 10. 1
1. 社会生活機能	0. 1 1. 1 2. 1 3. 1 4. 1 5. 1 6. 1 7. 1 8. 1 9. 1 10. 1

0. 自立	0. 1 1. 1 2. 1 3. 1 4. 1 5. 1 6. 1 7. 1 8. 1 9. 1 10. 1
1. 社会生活機能	0. 1 1. 1 2. 1 3. 1 4. 1 5. 1 6. 1 7. 1 8. 1 9. 1 10. 1

Ⅲ-7. 養下看護：日本版成人・高齢者用アセスメント・ケアプラン

使用方法：1. 養下者の状況が 2, 3, 2. 養下の状態が 1, 2, 3 の場合、「養下者の状態が 1, 2, 3 の場合」が必要
制限が 1 の場合「養下者の状態が 1, 2, 3 の場合」が必要

1. 養下者の状況	0. 困り感の程度に悩む 1. 困り感の程度に悩む 2. 困り感の程度に悩む 3. 困り感の程度に悩む 4. 困り感の程度に悩む
2. 養下の状態	0. 何でも普通に飲めぬ 1. 何でも普通に飲めぬ 2. 何でも普通に飲めぬ 3. 何でも普通に飲めぬ 4. 何でも普通に飲めぬ
3. 食事療法 制限	0. 食事は制限なし 1. 食事は制限なし 2. 食事は制限なし 3. 食事は制限なし 4. 食事は制限なし

Ⅳ. 養育管理：日本版成人・高齢者用アセスメント・ケアプラン

使用方法：いづれかに当てはまれば「養育管理の状況が 1, 2, 3 の場合」が必要

養育管理の状況	0. 養育管理の状況が 1, 2, 3 の場合 1. 養育管理の状況が 1, 2, 3 の場合 2. 養育管理の状況が 1, 2, 3 の場合 3. 養育管理の状況が 1, 2, 3 の場合 4. 養育管理の状況が 1, 2, 3 の場合
---------	---

Ⅴ. 家族介護の状況：日本版成人・高齢者用アセスメント・ケアプラン

使用方法：右の判断基準を参考にすること。A「家族介護の状況が 1, 2, 3 の場合」B「家族介護の状況が 1, 2, 3 の場合」C「家族介護の状況が 1, 2, 3 の場合」

	A	B	C
1. 主介護者の同居	1	1	1
2. 主介護者またはキーパーソンはキーパーソンの有無	3	3	3
3. 介護者の就労状況	2	2	2
4. 介護者の負担感	1, a	1, b	1, c
5. 介護者の知識・技術	2	2	2
6. 介護の状況	3	3	3
7. 介護者の状況	1	1	1
8. 介護継続の意思	1	1	1

家事負担の状況

使用方法：1. 家事の状況が A-E の 1 つでも 2. 家事の負担感が A-E の 1 つでも 12 の場合、「家事負担の状況が 1, 2, 3 の場合」が必要
夜間・休日の状況が 1, 2 の場合、「夜間・休日の状況が 1, 2 の場合」が必要

1. 家事の状況	0. できていない 1. 不十分 2. 不十分 3. 不十分
2. 家事の負担感	A. 軽微 B. 日用品の買い出し C. 風呂・トイレの掃除、洗濯 D. 洗濯・衣類の整理 E. その他（代行等）
3. 夜間・休日のケアの状況	0. 必要としない／希望しない 1. 必要としない／希望しない 2. 必要としない／希望しない 3. 必要としない／希望しない

Ⅵ. 住環境：フェイスチャージ部門で作成

使用方法：項目ごとに該当番号を選択し（複数可・選択肢が無い場合は空白に記入）、身体状況や ADL などを考慮してアセスメントする。

1. 住居の種類	1. 持ち家で、改造可能 2. 持ち家で、改造不可能 3. 借家で、改造可能 4. 借家で、改造不可能
2. エレベーター	1. ある 2. エレベーターは無いが、移動には問題がない 3. エレベーターが無く移動が困難である
3. 専用居室の有無	1. ある 2. 必要であるが、現在専用居室がない 3. 必要であるが、専用の部屋を確保できない
4. 居室の広さ	1. 1 階にある 2. 2 階以上にあるが、移動には問題がない 3. 2 階以上にあり、移動に問題あり
5. ベッドの有無	1. ある 2. 必要ない 3. ベッドはあるが種類や硬さが必要 4. 必要であるが、ベッドがない
6. 段差（障壁）	1. 段差（障壁）がない 2. 介助があれば移動できる 3. 手すり、段差解消などの改造が必要
7. 廊下	1. スムーズに移動できる 2. 狭くて椅子が入らない 3. 手すりなどが必要
8. 外からのアプローチ（公道からの玄関まで）	1. 段差はなく出入りできる 2. 介助があれば移動できる 3. 介助があっても移動が困難であり、改造が必要
9. トイレ	1. 問題なく利用できる 2. 和式で利用が困難である 3. 広さが狭い（介助者や車椅子が入らない） 4. 手すりなどが必要
10. 浴室	1. 問題なく利用できる 2. 洗い場が狭い 3. 手すり、シャワーチェアなどが必要 4. 浴槽が利用できない（狭い、深いなど）

() 病棟 () さんのアセスメントおよび退院に際して予測される問題点

		平成 年 月 日 記入者:	平成 年 月 日 記入者:
I. 認知機能・ADL	I-1. 意識レベル		
	I-2. 四肢の運動機能		
	II-1. 意欲		
	II-2. 睡眠		
	III-1. ADL		
	III-2. IADL		
	III-3. 視覚		
II. 身体状況・ADL・IADL	III-4. 聴覚		
	III-5. 排泄		
	III-6. 排便コントロール		
	III-7. 嚥下機能		
IV. 薬剤管理			
V. 家族介護の状況			
VI. 住環境			

番号：P ー

狭山病院をご利用された皆様へのアンケート調査のお願い

私達は、退院される方が少しでも安心してご自宅に戻られることができるために、退院時のご意見をお伺いしたく、アンケート調査を実施しております。療養中の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力下さいませ。よろしくお願いいたします。

皆様からいただきましたお答えは、統計的に処理され、個人的な情報が外部に漏れることは決してございませんので、ご遠慮なくお答えください。皆様がお元氣になられることを心よりお祈りしております。

調査代表 狭山病院 看護部長 中澤 典子
東京医科歯科大学 医学部 保健衛生学科 島内 節

ご協力いただけますかどうかを、下の枠内の口にごチェックして下さいませ。

協力します。

→ 次のアンケートの記入方法をお読みの上、次のページの質問にお答え下さい。

<アンケート用紙をご記入にあたって>

- ・ 質問は 23 項目あり、退院準備に関する質問です。
- ・ 退院準備についてお聞きするものですので、退院前々日（2 日前）、前日（1 日前）、退院当日のいずれかの、退院するまでのお時間のある時に、記入してください。
- ・ 患者さんへのアンケート用紙でご本人が記入できない場合は、恐れ入りますがご家族などが代わりに記入下さい。
- ・ お答えいただいた用紙は、一緒にお渡した封筒に入れて封をし、退院なさる時に、病棟備え付けのアンケート用紙回収箱にお入れ下さい。
- ・ ご意見などがございましたら余白にお書き下さい。ご記入方法や質問内容にご意見ご質問がございましたら、調査者（乗越：03 - 5803 - 5355.）までお問い合わせください。
- ・ 調査票は、東京医科歯科大学地域看護学研究室で統計処理されます。

協力しません。

→ そのまま封筒に入れてお返し下さいませ。ありがとうございました。

入院されている方（患者様）ご本人についてお答え下さい。

1. 性別はどちらですか？

1. 男 2. 女

右の当てはまる番号を○で囲んで下さい。

2. おいくつですか？

満（ ）歳

3. ご回答された方はどなたですか？

1. ご本人 2. ご家族 3. その他（ ）

当てはまる番号を○で囲んで下さい。

4. 一緒にお住まいの方はいらっしゃいますか？ すべての番号を○で囲んで下さい。（複数回答）

1. 一人暮らし 2. 配偶者（年齢：満 歳） 3. 息子 4. 娘 5. 嫁 6. 婿 7. 孫
8. 父親 9. 母親 10. その他の親戚（続柄 ） 11. 親戚以外（友人など）

5. 1) 介護を必要とされていますか？

1. はい 2. いいえ

↳ 2) 上の質問で「1. はい」と答えた方を、主に介護をされているのはどなたですか？

下記の枠内の当てはまる番号を○で囲んで下さい。

1. 配偶者 2. 息子 3. 娘 4. 嫁 5. 婿 6. 孫 7. 父親 8. 母親
9. その他の親戚（続柄 ） 10. その他（友人など） 11. 介護サービス

6. 次に、左の各質問に対して、右の1から4の当てはまる番号に○をつけて下さい。

はい であまり いいえ
1 2 3 4

1) 他人の話を理解したり、言葉や身振り手振りでも、自分の伝えたいことを伝える事ができますか？

1 2 3 4

2) ご病状は安定していますか？

1 2 3 4

3) ご自分の体がどの程度動かか、また動かしてよいか理解されていますか？

1 2 3 4

4) ご自分の体の状態を納得されていますか？

1 2 3 4

5) ご自分で家事・買い物・お金の管理ができますか？
ご自分でできない場合、代わりにしてくれる人はいいますか？

1 2 3 4

6) 家族や周囲の人とうまくつきあっていますか？

1 2 3 4

質問 5. 患者さんの日常生活動作はどのような状態ですか？

1)~10) の項目について右の欄の当てはまる得点に、○をつけてください。

記入例) 食事で部分介助である患者さんの場合は、下記のようになります

1) 食事	10: 食事
	5: 自立、自介助などの装具可、標準的時間内に食べ終える
	0: 部分介助 (たとえば、おかずを切って細かくしてもらう)
	0: 全介助

1) 食事	10: 自立、自介具などの装具可、標準的時間内に食べ終える
	5: 部分介助 (たとえば、おかずを切って細かくしてもらう)
	0: 全介助
2) 車椅子から ベットへの 移乗	15: 自立、ブレーキ、フットレストの操作も含む (歩行自立を含む)
	10: 軽度の部分介助または監視を要す
	5: 座ることは可能であるがほぼ全介助
	0: 全介助または不可能
3) 整容	5: 自立 (洗面、整容、歯みがき、ひげ剃り)
	0: 部分介助または全介助
4) トイレ動作	10: 自立、衣服の操作、後始末を含む、ポータブル機器などを使用している場合は その洗浄も含む。
	5: 部分介助、体を支える、衣服、後始末に介助を要する。
	0: 全介助または不可能
5) 入浴	5: 自立
	0: 部分介助または全介助
6) 歩行	15: 45m 以上の歩行、 補装具 (車椅子、歩行器は除く) の使用の有無は問わない。
	10: 45m 以上の介助歩行、歩行器の使用を含む
	5: 歩行不能の場合、車椅子 45m 以上の操作可能
	0: 上記以外
7) 階段昇降	10: 自立、手すりなどの使用の有無は問わない
	5: 介助または監視を要する
	0: 不能
8) 着替え	10: 自立、靴、ファスナー、装具の着脱を含む。
	5: 部分介助、標準的な時間、半分以上は、自分で行える
	0: 上記以外
9) 排便コトド -4	10: 失禁なし、尿漏、座薬の取り扱いは可能
	5: とくに失禁あり、尿漏、座薬の取り扱いに介助を要する者も含む。
	0: 上記以外
10) 排尿コトド -4	10: 失禁なし、取尿器の取り扱いは可能
	5: とくに失禁あり、取尿器の取り扱いに介助を要する者も含む
	0: 上記以外

(バーセル インデックス)

看護職員の皆様へ

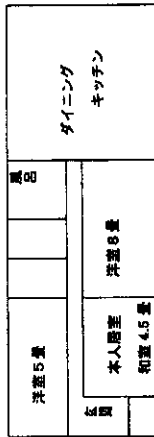
現在、狭山病院では在宅ケアを必要とする患者さんに必要な看護や継続ケアを提供できるように、ディスプレイコーディネーターを設立し、今回、組織改編を行い積極的にとり組んでいく予定です。そこで今後行う研修などへの参考とするため、皆様に事例の展開を行っていただく力をお願いしたいと思います。お手数ですが、以下の事例を読んでいただき、現在のこの事例の問題およびニーズをアセスメントし、在宅ケアを継続できるようなケア計画を記入して下さい。なお、用紙に氏名を記入する必要はなく、個人的な査定を行うものでもありませんので、他の人と相談することなくご自分で考えたものをご記入下さい。

ご記入後、郵封筒へ1月4日までに郵入して下さい。こちらから回収に伺います。よろしくお願いたします。

看護部 中澤 典子

<事例>

患者名：O山O江 満70歳 女性
 疾患名：脳梗塞・脳血栓症
 既往歴：50歳で高血圧症
 身長・体重：142cm 40kg



入院から現在までの経過と状況：
 自宅にて朝に目が覚めた時に異常に気付き、救急車にて当病院に緊急入院となった。現在、発症から32日目で状態は安定し慢性期である。治療は、パナルジン（血小板凝集抑制薬）ニパジル（Ca拮抗薬）での薬利治療と言語療法と言語療法を行っている。本日のバイタルサインは、BT=36.5℃ BP=134/78mmHg P=82回/分（不整）R=20回/分である。排便は1回/3日、排尿ともに失禁がある。右片麻痺があり、麻痺側上肢の浮腫（++）がある。また、中等度のプロローカ失語があり、言語の理解はできるが発語障害がある。嚥下障害があり誤嚥しやすく時々むせ込むが、ペースト食の経口摂取ができていない。視聴覚に問題はない。

端座位保持は可能であるが、バランスが不安定で自立は自力ではできず、平行棒内監歩行の状態でいる。ADLは全般的に中程度の部分介助が必要である。IADLは全面依存である。入院してから日常生活意欲が低下し不安感が強いが特異行動はない。趣味は、ラジオを聞くことと花の手入れである。

職歴はなく、月約6万の年金受給額はあるが経済的不安はない。夫は4年前に他界。現在、53歳の娘と55歳の婿（会社員）と3人暮らしをしている。孫が1人いるが独立して家を出ている。キーパーソンは娘であり、人間関係は婿とも問題はない。娘はパートタイムで仕事をしており、平日の8時から14時まで勤務している。本人・娘共に自宅退院を希望しているが、相談できる知り合いはなく、娘の介護経験もない。社会サービスを利用したことはないが、導入には抵抗はない。自宅は持ち家で8階の集合住宅の6階部分に居住しており、住宅にはエレベーターはついていない。本人の居室は和室である。

◆ まずあなたの事について、以下の質問に該当する番号に○を付け、()の中に数字をご記入下さい。

問1 あなたの現在の資格はなんですか？

1. 看護婦 (士) 2. 准看護婦 (士)

問2 あなたの現在のでの臨床経験は何年ですか？

() 年 () ヶ月
 [准看護婦 (士) の経験 () 年間]

◆ 次に1枚目の事例で在宅ケアを継続できるような退院までに、検討すべき問題点およびニーズの有無について例のように○を付け、有りのものについてケア計画をお書き下さい。わからない場合は空白でも結構です。この問題点およびニーズの分類に無いものは、空欄にお書き下さい。

問題点及びニーズ		ケア計画	
問題点	有・無	ケア計画	有・無
1	有・無	コミュニケーション・聴覚障害の検討	有・無
2	有・無	視覚障害の検討	有・無
3	有・無	せん妄の検討	有・無
4	有・無	痴呆の検討	有・無
5	有・無	ADL・IADLの低下・IADLの低下の検討	有・無
6	有・無	転倒の危険性の検討	有・無
7	有・無	生活用具・居住環境の検討	有・無
8	有・無	心理社会的孤立・生活意欲低下の検討（生活の活性化）	有・無

9	自分の落ち込み・憂うつ・情緒不安定の検討	有・無
10	特異（問題）行動の検討	有・無
11	役割遂行の検討	有・無
12	対人関係の検討	有・無
13	栄養状態・食事療法の検討	有・無
14	脱水状態・水分補給の検討	有・無
15	歯・口腔ケアの検討	有・無
16	排泄ケア・コントロールの検討	有・無
17	問題の未検・問題の安定性の検討	有・無
18	健康管理・セルフケアの検討	有・無
19	皮膚・清潔ケアの検討	有・無
20	睡眠障害の検討	有・無
21	痛みのコントロールの検討	有・無
22	ケア対象者への虐待防止の検討	有・無
23	薬の管理・服薬の検討	有・無
24	呼吸状態・呼吸機能・咳の検討	有・無

25	感染・発熱の兆候の検討	有・無
26	医療的処置の検討	有・無
27	家族介護力・家族機能の検討	有・無
28	家事援助の検討	有・無
29	社会資源活用の検討	有・無
30	ターミナル期の検討	有・無

おつかれさまでした。ご協力ありがとうございました。

退院計画・ディスチャージプランニング教育プログラム

1.教育目的	<p>ディスチャージプランニングの概念が理解でき、患者の退院後の生活を考えた入院中の看護行動が実践できる。また、本病院のディスチャージコーディネーションの機能と専門部門、ディスチャージコーディネーターの役割が理解でき、連携や相談、依頼ができる。</p>
2.教育対象	<p>全看護職員（非常勤も含む）</p>
3.教育内容	<p>1) 退院計画、ディスチャージプランニング、コーディネーションの定義・目的・展開定義、目的、展開とそれを構成する看護活動について説明する。</p> <p>2) 本院でのディスチャージプランニングの取り組み ディスチャージコーディネーターと専門部門の創設の経緯とこれまでの取り組みを報告する。</p> <p>3) ディスチャージコーディネーション部門の位置付け、役割、業務内容 本病院でのディスチャージプランニングガイドライン・展開方法を提示する。また、ディスチャージコーディネーターへの依頼・相談・連携方法を確認する。</p> <p>4) 患者・家族の退院後の生活を考えた看護行動とは何か？ 「情報収集・スクリーニング・アセスメント・看護計画（ケアプラン）・実施・モニタリング・評価」の一連の退院計画の展開を事例を使用して説明する。</p> <p>5) ディスチャージプランニング関連書類 ディスチャージプランニング関連書類の使用方法和記入方法について、説明を行なう。</p> <p>① スクリーニング票 ② 退院計画票 ③ 退院依頼票 ④ 退院計画フローチャート ⑤ 退院計画用アセスメント票</p>
4.教育方法	<p>中央における講義</p> <p>① 教育資料 →スライドと印刷資料 ② 教育担当者 →ディスチャージコーディネーターと外来講師 ③ 開催時間 →4日を設定し、第1回～第4回まで行なう。各回とも同様の講義内容。 時間は、17：30～18：45 までの1時間15分に会議室に対象者を集めて行なう。</p>